

令和 7 年度

本校における「全国学力・学習状況調査」の調査結果の概要

札幌市立厚別中学校  
校長 阿部 広一郎

はじめに

全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育の成果を検証することにより、学校における教育活動の充実や改善に役立てることを目的とした「全国学力・学習状況調査」が4月17日に行われました。3学年の生徒を対象に実施した「国語・数学の学力調査」と「生活と学習に関する状況調査」について、本校の調査結果の概要と今後の支援・指導の方向性について、お知らせいたします。

学力調査の内容

	国語	数学	理科
学習指導要領の内容	言葉の特徴や使い方	数と式	エネルギー
	情報の扱い方	図形	粒子
	我が国の言語文化	関数	生命
	話すこと・聞くこと	データの活用	地球
	書くこと		
	読むこと		
評価の観点	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
問題形式	選択式		
	短答式		
	記述式		

【中学校国語】

中学校  
国語

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

学習指導要領の領域等

□「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」については、全国平均を上回る正答率である。

評価の観点

□「知識・技能」「思考・判断・表現」については、全国平均を上回る正答率である。

問題形式

□「選択式」「記述式」については、全国平均を上回る正答率である。

□「短答式」は全国平均と同程度の正答率である。

◆文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。

◆読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。

◇作品の場面を捉えてその構成を理解するだけでなく、登場人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉え、その展開を把握する活動の充実。

◇自分の伝えたいことが分かりやすく伝わるように読み手の立場に立って文章を整える学習を通して、表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果について改善点を考えることで自分の書いた文章を捉え直す活動の充実。

概要の表現に関する補足

- ・上回っている = 全国平均と比較して「+3.1ポイント以上」
- ・同程度 = 全国平均と比較して「±3.0ポイントの範囲内」
- ・下回っている = 全国平均と比較して「-3.1ポイント以下」

【中学校数学】

中学校  
数学

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

学習指導要領の領域等

□「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の4領域すべてにおいて、全国平均を上回る正答率である。

評価の観点

□「知識・技能」と「思考・判断・表現」の観点について、全国平均を上回る正答率である。

問題形式

□「短答式」、「記述式」の平均正答率は、全国平均を上回っている。

□「選択式」の平均正答率は、全国平均と同程度であるが、やや上回っている。

◆素数の意味を理解すること。

◆相対度数の意味を理解すること。

◆証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすこと。

◆ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること。

◇素数の意味やその活用方法について確認したり、授業内で発展的な問題に取り組む機会の充実。

◇相対度数の意味やその計算方法について確認したり、授業内で発展的な問題に取り組む機会の充実。

◇証明されたことがらについて、図形についての理解を深める活動の充実。

◇与えられた条件を図形に照らし合わせて考えられるようにし、様々な定理の中からどの定理を利用して証明したらよいかを考察する活動の充実。

概要の表現に関する補足

- ・上回っている = 全国平均と比較して「+3.1ポイント以上」
- ・同程度 = 全国平均と比較して「±3.0ポイントの範囲内」
- ・下回っている = 全国平均と比較して「-3.1ポイント以下」

【中学校理科】

中学校理科	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	<p>□「理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな?」という疑問を解決するため課題を記述する問題は、全国平均を上回る正答率である。</p> <p>□地層1から地層4までの性質から、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する問題は、全国平均を上回る正答率である。</p> <p>□塩素の元素記号を記述する問題は、全国平均を上回る正答率である。</p> <p>□水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する問題は、全国平均を上回る正答率である。</p> <p>□実験の動画と実験結果の図から、どのような化学変化が起きているか判断し、原子や分子のモデルを移動させることで、その化学変化をモデルで表す問題は、全国平均を上回る正答率である。</p>	<p>◆電熱線で水を温める場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能の定着。</p>	<p>◇実験結果を記録するだけでなく、電流、電圧、電力、そして水の上昇温度(熱量)の関係性に着目できるようにグラフ化するなどをして、多角的に分析・解釈する学習活動の充実。</p>
<p>概要の表現に関する補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上回っている = 全国平均と比較して「+3.1ポイント以上」</li> <li>・同程度 = 全国平均と比較して「±3.0ポイントの範囲内」</li> <li>・下回っている = 全国平均と比較して「-3.1ポイント以下」</li> </ul>			

# 【生活と学習に関する状況調査】

## 1. 特に肯定的な回答率が高かった項目（80%以上）

(項目：質問順に掲載)	肯定的な 回答率
■ 朝食を毎日食べていますか	94.3 %
■ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	80.0 %
■ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	95.1 %
■ 自分には、よいところがあると思いますか	90.2 %
■ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.6 %
■ 人が困っているときは、進んで助けていますか	91.1 %
■ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.5 %
■ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.6 %
■ 学校に行くのは楽しいと思いますか	87.0 %
■ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	81.3 %
■ 友達関係に満足していますか	86.1 %
■ あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ができると思いますか	84.5 %
■ あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ができると思いますか	92.7 %
■ あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか	88.6 %
■ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	84.5 %
■ あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	85.4 %
■ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	92.7 %

### 見解と対策

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時間に起きている」という生活習慣に関わる質問については、肯定的な回答がいずれも80%を超えていることから、基本的な生活習慣がある程度確立されていることが見てとれる。また、「人が困っているときは、進んで助けている」「自分には、よいところがある」「自分のことを認めてくれている」など、他者との関わりに関する項目については肯定的な回答が90%を超えているため、日々の生活における内面の安定を見てとることができる。さらに、ICT機器の活用に関する項目では84%、インターネットの情報収集の項目も90%を超えており、ICT機器を有効に活用していることが分かる。

来年度以降も学校と家庭が協力して、生徒ひとりひとりを見守り、より一層の基本的な生活習慣の定着と学習活動の支援に努めていく。

## 2. 全国平均と比較して、同程度もしくはやや肯定的な回答率が高かった項目

(項目：質問順に掲載)	全国平均との差
■ 朝食を毎日食べていますか	3. 1
■ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	6. 0
■ 自分には、よいところがあると思いますか	4. 0
■ 新聞を読んでいますか	3. 2
■ 読書は好きですか	6. 7 ポイント
■ あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますと思いますか	12. 0
■ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	5. 0

### 見解と対策

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」の項目が全国平均よりも高く、毎日の生活習慣が確立されていることが見てとれる。総合的な学習の時間の発表や、ICT 機器を使ってプレゼンテーションを行うことについては、本校の旅行的行事のまとめ発表や「みらくエ」などで、3年間プレゼンテーション活動を実施していることにより、肯定的な回答が全国平均よりも 12 ポイント高くなったと考えられる。また、新聞や読書など紙媒体にも多く触れていることが分かるため、より学校図書館の活用も促していきたい。

## 3. 全国平均と比べて肯定的な回答率が低く、今回の調査における課題となる項目

(項目：質問順に掲載)	全国平均との差
■ 将来の夢や目標を持っていますか	- 4. 1
■ 友達関係に満足していますか	- 5. 3
■ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	- 2. 7
■ 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでももらったりすることがあります（習い事は除く）	- 14. 0
■ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますと思いますか	- 2. 4 ポイント
■ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	- 7. 4
■ 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	- 5. 7
■ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	- 4. 2

### 見解と対策

地域と連携した行事が昨年度から再開したため、「花いっぱいプロジェクト&クリーンアッププロジェクト」「ワイワイ夏フェスタ」「DIG 研修」などを通して地域への所属感を高め、地域への愛着をより促していきたい。また、将来の夢や目標については、キャリア教育「みらくエ」を通して、講師の方のお話を聞き、体験活動の中で、生徒が将来についてより具体的な見通しをもてるように取り組んでいきたい。

#### 4. ICTの使用、学習時間、読書に関する項目

(項目：質問順に掲載)

全国平均との差  
(1時間以上の使用  
について)

- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

－ 2. 3

全国平均との差  
(1時間以上学習  
をしている)

- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

1. 9

ポ  
イ  
ン  
ト

- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

5. 5

全国平均との差  
(25冊以上)

- あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）

11. 0

ポ  
イ  
ン  
ト

#### 見解と対策

1日あたりの勉強時間については全国平均を上回っているため、学習に熱心な家庭が多いと考えられる。

また、読書については、全国平均と比べると「読書が好き」と肯定的な回答が6.7ポイントも高く、家庭にある本の冊数についても11ポイント高い。これは、朝読書の取組、学校図書館の取組により、読書習慣が十分定着しているものと考えられる。読書への意欲を継続できるよう、学校図書館の活用など、読書習慣を身に付けられるよう学校からも促していきたい。